

Voice

～ 海から学ぶ教育効果 vol.2 ～

YMC A 阿南国際海洋センターをご利用いただく幼稚園・各種学校・各種教育団体のみなさまから、実際の活動を通して得られる効果や参加者の変化・成長など、「海から学ぶ教育効果」についての『Voice』をお聞きしました。



松蔭中学校・高等学校
副校長
芳田 克巳 先生

『海洋キャンプの教育効果について』

YMC A 阿南国際海洋センターで「海洋キャンプ」を始めて今年で16回目となる。ちょうど21世紀になった年からお世話になっている。

私は第1回目のキャンプの引率者でもある。当時は今の倍の学生がおり、非常に賑やかだった。今は実施していないヨット、そして、ジャンボカヌー、カヌー、カヤックと何から何まで初めての体験を、生徒はもちろん、教員も一緒に楽しんだ（苦しんだ）。

その「教育効果」とは、非日常の体験を失敗して得る「気づき」のように思う。「うまくいかないこともあるんだ」という気づきである。ほとんどの生徒たちにとって海洋スポーツは初めての体験である。「うまくいかない!」これは人生にとって大きい。もちろん、互いに協力して時々「うまくいく」こともある。それはもちろん充実感・達成感を生むのだが、うまくいかないことの方が多い。特にジャンボカヌーなどの進み具合は体験してみると「腹立たしい」ほどである。

自然もいい。レトロな感じ宿舎では手入れは行き届いているが、虫が出る。滅多に見かけないムカデなど出ようものなら、大騒ぎである。もちろん、YMC A 阿南国際海洋センターのスタッフによってそれぞれのアクティビティや食事などは本当に良質のものが保証されている。キャンプファイヤーなどは好例である。

生徒の心には2泊3日で体験した成功、失敗が今後に繋がる。時々、カヌーレースでの勝ち負けがクラス経営に尾を引く場合もあるようだが、それも一興である。

